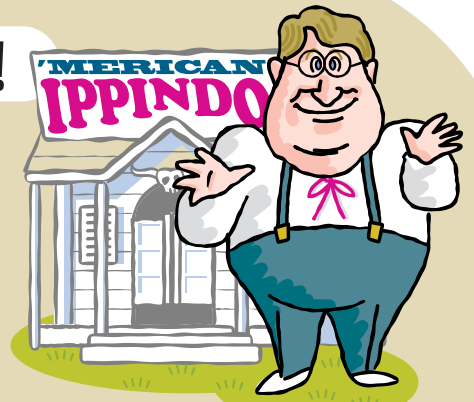


注目のアプライアンスが続々入荷!

アメリカン逸品堂



渡辺史敏

Photo: Kyoko Watanabe

アメリカでは、いまネットワークを活用したおもしろ製品がどんどん誕生している。

そのなかには感動的な驚きの名品もあれば、「なんだこりゃ?」な迷品もある。

ここアメリカン逸品堂では、毎月入荷する品々の中から店主厳選の逸品をご紹介します!

ボタンやペンによる操作で軽快に動く!

インターネットアプライアンスと並んで昨年来アメリカの家電、PC業界で注目されているのが「eBook」だ。eBookとはGemstar社が中心となって進めている電子書籍の一規格。ここで紹介する「REB1200」は大手家電メーカーRCAが発売したeBook専用のデバイスで、カラー液晶を搭載した上位機種ら

しくきれいな合皮製のカバー付きだ。

● 本体の大きさは約19cm x 約23cm、厚さは3cm強。RCAの言葉を借りれば“ハードカバーブック”サイズだ。重さは微妙な約940g。気軽に読むにはちょっと重くて厚い気もする。気になる画面は解像度480 x 640の8インチTFT液晶が使われており、ひと昔前のノートPCが縦になった感じだ。決して見にくくはないが長時間画面を読むことを考えると、もう一段高精彩でもよかった気がする。

● 動作自体は軽快で、画面脇の操作ボタンやスタイラスペンによる画面タッチで、ページ送りやメモ書き、検索などが気軽にできるようになっている。

● このREB1200は56kbpsモデムと10Base-Tのイーサネットポートを備えていることが1つの特徴となっており、eBookの専用ウェブページにアクセスし、コンテンツデータをオンラインで購入してダウンロードできるようになっている。特にイーサネットはダウン

ロード待ちのイライラ解消には強力な武器だろう。ただし、インターネット対応といっても通常のウェブブラウザと同様にネットサーフィンができるわけではなく、あくまでも専用ページが見られるだけだ。

● コンテンツデータの記憶媒体にはコンパクトフラッシュが使用されており(標準では8MBカードが添付)、ノートPCなどでダウンロードしたeBookコンテンツを読むこともできる。対応コンテンツも有名作家の最新小説が紙媒体版より若干安く提供されていたり、Time誌の年間購読ができたりと多彩だ。

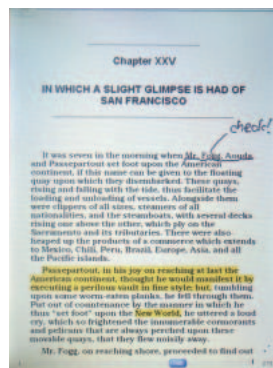
● 総合的に見ると、699ドルという値段はeBook専用であることを考えるとかなり高額な印象もあるが、使い勝手も悪くなく、ソフトも併せた将来性はたしかに感じられる逸品に仕上がっている。ただし、今後の普及にはコンテンツとユーザー数の拡大がますます重要になりそうだ。

電子書籍“eBook”専用アプライアンス

REB1200



専用ウェブページ“eBookstore”にアクセスしたところ。クレジットカードを使ってコンテンツを購入し、ダウンロードできる。



コンテンツのテキスト画面。本文にハイライトマーカーを付けたり、手書きメモを書いたりすることも可能。

DATA

メーカー: RCA

価格: 699ドル

www.rca.com

防犯の一步先行く ホームマネージメント

最近、“ホームネットワーキング”がホットな話題になってきている。現在は家族の持つパソコンをLANで接続してデータやプリンター、インターネット接続の共有といったところが主だが、この先さまざまな“家電”がネットワーク化されていくからだ。そして、その有力候補の1つとされているのが防犯システムだ。今回紹介するこのXanbooはまさにそのバイオニアの商品の1つで、ウェブをベースにした“インターネットホームマネージメントシステム”が売りになっている。

スターターキットに含まれているのは基本的にコントローラーユニットとモーションセンサー付きウェブカメラ、そして専用ソフトの3つ。インターネット接続できるPCにソフトをインストールし、ウェブをつないだコントローラをPCとUSBで接続、さらにXanboo.comのIDをウェブで登録すれば準備は終了。ソフト

ネット経由の遠隔防犯システム

Xanboo



DATA

メーカー：Xanboo

価格：スターターキット179ドル95セント

会費：月額9ドル95セント(5MB)~

KJump www.xanboo.com

を起動すると、カメラが作動して映像をモニターし始める。その画像はPC本体で見られるだけでなく、xanboo.comの専用ウェブページからコントロールすることも可能だ。それだけでも、遠隔防犯システムといえる

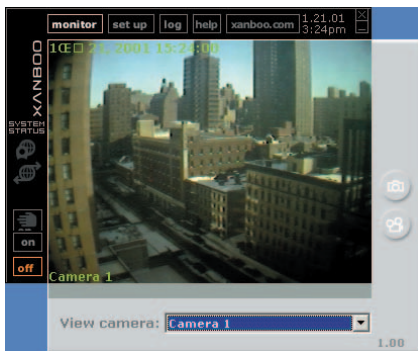
が、モーションセンサーと連動させ、センサーが何かの動きを検知すると自動的にウェブカメラが撮影を行い、そのイメージファイルをウェブページにタイムスタンプなどと同時にアップロードするといったことも簡単にできる。おまけにアップロードすると同時に、そのことをメールやボケベルで登録者に知らせることにまで対応しているのだ。

また、センサーも振動や音声、地下室の漏水を検知するのに使う水センサーなど複数用意されている。おまけにセッティングも容易だ。たしかに単なる防犯ではない一歩先行く“ホームマネージメント”システムなのだ。

防犯という性格を考えるとPCの電源は常時オン、高速インターネットへの常時接続の環境でなければその実力を発揮できないが、価格もけっこう値ごろ感があるし、これからのブロードバンド時代にはまさにぴったりのサービスといえそうだ。



Xanboo.comのユーザー専用ウェブページ。センサー運動などで撮影された画像が時系列的にアップロードされている。さらにavi形式のビデオ撮影もできる。



専用コントロールソフトの画面。センサー運動やアップロードの指示などができるほか、このソフトでリアルタイムな画像モニタリングが可能。



ひと足早くハヤリモノをチェック!

今月の早目・早耳

「ISPと長期契約してくれたらパソコン本体は無料にします」そんな“無料パソコン”サービスが一時はアメリカだけでなく、日本でも大流行したことは記憶に新しい。アメリカでは、CompuServeなどがパソコン“割引”として同様のサービスを続けているが、無料をうたうものは最近すっかり姿を消している。実際にビジネスとして成立させるのは難しかったというのが一般的な評価だ。

すでに過去の話題だなぁと思っていたらインターネットアプライアンスでまったく同じタイプのサービスを開始すると発表したところがあったので驚いた。それがこのNadaPCだ。月額22ドル程度のISPと3年契約をすれば、ウェブパッド型アプライ

アンスを無料でくれるのだという。ハードは129MHzの専用チップを使い、32MBのRAM、8インチVGA液晶を搭載したウィンドウズCEベースのマシンとのこと。コストパフォーマンスを考えると微妙な感じだが、やはり無料というのはそそられるので、この欄で紹介することを検討していたら、なんと“新商品”が追加されていた。3年契約プラス199ドルで、インターネット対応の高品位テレビ(HDTV)がもらえるというのだ。高嶺の華であるHDTVがこの値段というのはかなりの魅力かも。申し込むかどうかは別にして、いまや孤軍奮闘の状態であるNadaPCをちょっと応援したくなってきた。

インターネットアプライアンスがタダでもらえる!

NadaPC

KJump www.nadapc.com



ウェブパッド型のSufBoardとHDTVの無料サービスを受け付けているNadaPCのウェブサイト。果たしてその行方はいかがか。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp